

**博士課程教育リーディングプログラム 平成23年度採択プログラム  
中間評価結果一覧**

区分	評価基準	オールラウンド型	複合領域型 (環境)	複合領域型 (生命健康)	複合領域型 (安全安心)	複合領域型 (横断的 テーマ)	オンリーワン型	合計
		件	件	件	件	件	件	件
S	計画を超えた取組であり、 現行の努力を継続すること によって本事業の目的を十分 に達成することが期待でき る。	0	2	0	0	1	0	3
A	計画どおりの取組であり、 現行の努力を継続すること によって本事業の目的を達 成することが期待できる。	2	0	2	0	1	4	9
B	一部で計画と同等又はそれ 以上の取組もみられるもの の、計画を下回る取組であ り、本事業の目的を達成す るには、助言等を考慮し、一 層の努力が必要である。	1	2	2	1	0	2	8
C	取組に遅れが見られる等、 総じて計画を下回る取組で あり、本事業の目的を達成 するために当初計画の縮小 等の抜本的な見直しを行 い、見直し後の計画に応じ て財政支援を縮小するこ とが必要である。	0	0	0	0	0	0	0
D	現在までの進捗状況に鑑 み、本事業の目的を達成で きる見通しがないと思われ るため、当該採択プログラ ムへの財政支援を中止す ることが必要である。	0	0	0	0	0	0	0
	計	3	4	4	1	2	6	20

## 【オールラウンド型】:3件

A:計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。

整理番号	機関名	プログラム名称	プログラムコーディネーター名	共同実施機関(※1)	連携先機関(※2)
A02	大阪大学	超域イノベーション博士課程プログラム	藤田 喜久雄 (大学院工学研究科・機械工学専攻・教授)		パナソニック(株)、ダイキン工業(株)、(株)ベネッセコーポレーション、(株)キャンサーズキャン、(株)健康都市デザイン研究所、(一社)アスリートネットワーク、(独)国際協力機構
A03	慶應義塾大学	超成熟社会発展のサイエンス	神成 文彦 (大学院理工学研究科・総合デザイン工学専攻・教授)		

※1 共同教育課程を設置している場合の共同実施機関名

※2 他の大学等と連携した取組の場合の機関名、研究科専攻等名(連携先機関所属のプログラム担当者を含むもの)

B:一部で計画と同等又はそれ以上の取組もみられるものの、計画を下回る取組であり、本事業の目的を達成するには、助言等を考慮し、一層の努力が必要である。

整理番号	機関名	プログラム名称	プログラムコーディネーター名	共同実施機関	連携先機関
A01	京都大学	京都大学大学院思修館	川井 秀一 (大学院総合生存学館・学館長)		

## 【複合領域型(環境)】:4件

S:計画を超えた取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を十分に達成することが期待できる。

整理番号	機関名	プログラム名称	プログラムコーディネーター名	共同実施機関	連携先機関
B02	東京工業大学	環境エネルギー協創教育院	波多野 睦子 (大学院理工学研究科電子物理工学専攻・教授)		ジョージア工科大学(アメリカ)、ウイスコンシン大学(アメリカ)、ケンブリッジ大学(イギリス)、シュツットガルト大学(ドイツ)、韓国科学技術院(KAIST)(韓国)、清華大学(中国)
B04	慶應義塾大学	グローバル環境システムリーダープログラム	清木 康 (大学院政策・メディア研究科・教授)		プリンストン大学(アメリカ)、ケンブリッジ大学(イギリス)、国連環境計画Asia-Pacific Adaptation Network(APAN)、タンペレ工科大学(フィンランド)

B:一部で計画と同等又はそれ以上の取組もみられるものの、計画を下回る取組であり、本事業の目的を達成するには、助言等を考慮し、一層の努力が必要である。

整理番号	機関名	プログラム名称	プログラムコーディネーター名	共同実施機関	連携先機関
B01	東京大学	サステナビリティ学グローバルリーダー養成大学院プログラム	味埜 俊 (大学院新領域創成科学研究科・教授)		国際連合大学サステナビリティ高等研究所
B03	名古屋大学	グリーン自然科学国際教育研究プログラム	阿波賀 邦夫 (物質科学国際研究センター・教授)		(共)自然科学研究機構分子科学研究所、(共)自然科学研究機構基礎生物学研究所

## 【複合領域型(生命健康)]: 4件

A: 計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。

整理番号	機関名	プログラム名称	プログラム コーディネーター名	共同実施機関	連携先機関
C01	筑波大学	ヒューマンバイオロジー学位プログラム	澁谷 彰 (医学医療系・教授)		ポルドー第二大学(フランス)、エジンバラ大学(イギリス)、ウブサラ大学(スウェーデン)、スタンフォード大学(アメリカ)、ハーバード大学(アメリカ)、カリフォルニア大学サンフランシスコ校(アメリカ)、精華大学(中国)、国立台湾大学(台湾)、車大学(韓国)、梨花女子大学(韓国)
C03	東京工業大学	情報生命博士教育院	秋山 泰 (大学院情報理工学研究科計算工学専攻・教授)		

B: 一部で計画と同等又はそれ以上の取組もみられるものの、計画を下回る取組であり、本事業の目的を達成するには、助言等を考慮し、一層の努力が必要である。

整理番号	機関名	プログラム名称	プログラム コーディネーター名	共同実施機関	連携先機関
C02	東京大学	ライフイノベーションを先導するリーダー養成プログラム	岩坪 威 (大学院医学系研究科・脳神経医学専攻・教授)		
C04	大阪大学	生体統御ネットワーク医学教育プログラム	竹田 潔 (大学院医学系研究科・医学専攻教授)		(独)産業技術総合研究所、(独)医薬基盤研究所、中外製薬(株)、田辺三菱製薬(株)、第一三共(株)、塩野義製薬(株)、テルモ(株)、パナソニック(株)、GEヘルスケア・ジャパン(株)

## 【複合領域型(安全安心)]: 1件

B: 一部で計画と同等又はそれ以上の取組もみられるものの、計画を下回る取組であり、本事業の目的を達成するには、助言等を考慮し、一層の努力が必要である。

整理番号	機関名	プログラム名称	プログラム コーディネーター名	共同実施機関	連携先機関
D01	京都大学	グローバル生存学大学院連携プログラム	寶 馨 (防災研究所(工学研究科社会基盤工学専攻)・教授)		

## 【複合領域型(横断的テーマ)】:2件

S:計画を超えた取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を十分に達成することが期待できる。

整理番号	機関名	プログラム名称	プログラムコーディネーター名	共同実施機関	連携先機関
E01	東京大学	フotonサイエンス・リーディング大学院	五神 真 (大学院理学系研究科長・教授)		

A:計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。

整理番号	機関名	プログラム名称	プログラムコーディネーター名	共同実施機関	連携先機関
E02	広島大学	放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム	神谷 研二 (原爆放射線医科学研究所・教授)		福島大学、福島県立医科大学、東北大学、長崎大学、(独)放射線医学総合研究所、(公財)放射線影響研究所

## 【オンリーワン型】:6件

A:計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。

整理番号	機関名	プログラム名称	プログラムコーディネーター名	共同実施機関	連携先機関
F01	北海道大学	One Healthに貢献する獣医科学グローバルリーダー育成プログラム	堀内 基広 (大学院獣医学研究科・教授)		帯広畜産大学(原虫病研究センター、岐阜大学大学院連合獣医学研究科)
F02	群馬大学	重粒子線医学工学グローバルリーダー養成プログラム	中野 隆史 (大学院医学系研究科医科学専攻・教授)		筑波大学・陽子線医学利用研究センター、国立がん研究センター研究所、群馬県立がんセンター、放射線医学総合研究所、宇宙科学研究所(JAXA)、高崎量子応用研究所(JAEA)、三菱電機(株)・電カシステム製作所、(株)東芝・電カシステム社、(株)日立製作所、マサチューセッツ総合病院(アメリカ)、オハイオ州立大学(アメリカ)、重イオン研究所(ドイツ)
F03	東京工業大学	グローバル原子力安全・セキュリティ・エージェント養成	齊藤 正樹 (グローバル原子力安全・セキュリティ・エージェント教育院・特命教授)		
F04	山梨大学	グリーンエネルギー変換工学	内田 裕之 (グリーンエネルギー研究センター長・教授)		(独)物質・材料研究機構、(独)産業技術総合研究所ユビキタス研究部門、日産自動車(株)総合研究所、(株)東芝電カシステム社

B:一部で計画と同等又はそれ以上の取組もみられるものの、計画を下回る取組であり、本事業の目的を達成するには、助言等を考慮し、一層の努力が必要である。

整理番号	機関名	プログラム名称	プログラムコーディネーター名	共同実施機関	連携先機関
F05	名古屋大学	法制度設計・国際的的制度移植専門家の養成プログラム	松浦 好治 (大学院法学研究科総合法政専攻・特任教授)		
F06	兵庫県立大学	フotonサイエンスが拓く次世代ビコバイオロジー	大隅 隆 (大学院生命理学研究科生命科学専攻・教授)		(独)理化学研究所 放射光科学総合研究センター